



2026年3月31日

各 位

アイドルと表現者の「まなざし」が交差する。  
Rain Tree 橋本真希 × 藝大生9人によるコラボレーション展  
『雨の日の星空』への協賛！

当社は、南青山にて2026年8月に開催されます、Rain Tree 橋本真希 × 藝大生9人によるコラボレーション展『雨の日の星空』への協賛を行っております。

本日、本プロジェクトの始動に伴い、展覧会公式サイトが公開されましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

アイドルと表現者の「まなざし」が交差する。  
Rain Tree 橋本真希 × 藝大生9人によるコラボレーション展  
『雨の日の星空』  
2026年8月、南青山にて開催決定。公式サイト本日解禁。



東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻の学生9名と、ガールズグループ「Rain Tree」の橋本真希によるアートプロジェクト、展覧会『雨の日の星空』を2026年8月18日(火)より、東京・南青山のGallery Blue 3143にて開催いたします。  
本プロジェクトの始動に伴い、本日3月31日、展覧会公式サイトを公開いたしました。

■ 公式サイト URL : <https://rtgeidaipj.github.io/>

---

### ■ 展覧会コンセプト : 「まなざし」が境界を越える

本展は、厚い雲の先にある星空を信じるように、見えない未来に希望のまなざしを持ち、表現を続けてきた10名の表現者(作家)による舞台です。

「アイドル」と「アーティスト」。異なる領域に立つ両者に共通するのは、「誰かに見つけられ、支えられる」というファンダム(支持者)との深い関係性です。本展では、表現者が抱える「まなざし」をテーマに、橋本真希を含む10名の作家による、それぞれの視点を投影した絵画作品を一堂に展示します。アイドルとしてのアイデンティティを絵画という形態に昇華する橋本真希と、アイドルプロデュースに代表される「ファンダム」という要素を自らの表現に取り込む藝大生たち。表現者としての境界を越えて、鑑賞者やファンとの新たな関係の構築を目指す、実験的な試みをお届けします。

### ■ ナラティブな没入体験 : 声で綴るステートメント

会場内では、出展する各作家が執筆したまなざしにまつわるテキスト(作品解説テキスト)を、橋本真希が朗読する朗読解説の導入を予定(※)しています。来場者が自身のスマートフォンで各作品に付随するQRコードを読み取ることで、絵画という視覚表現と、橋本の「声」によるナラティブが共鳴。作家一人ひとりの背負ってきた背景や物語を、耳元で語りかけられるようなパーソナルな体験として提供し、作家と鑑賞者の境界を横断する対話を試みます。

(※朗読解説の実施内容および形式は、予告なく変更となる場合がございます)

### ■ 橋本真希 (Rain Tree) コメント

「アイドルとして活動する中で、私はいつも『誰かに届くこと』を考えてきました。それは作品をつくることとは異なるようでいて、実はとてもよく似た祈りのような行為だと思っています。

アーティストとアイドルは違う立場に見えても、どちらも“誰かのまなざしに触れて、はじめて輪郭を持つ”ものです。

その事実を抱えたまま、今回、私はひとりの作家として制作に向き合いました。

『雨の日の星空』のように、厚い雲の向こうを信じる気持ちが、この展示を通してそっと誰かの心に届いたら嬉しいです。」

### ■ 出展作家プロフィール (Instagram)

#### Rain Tree

- 橋本真希 [@hashimoto\\_maki](https://www.instagram.com/hashimoto_maki)

#### Tokyo University of the Arts Students

- あめ [@prism\\_tensichan](https://www.instagram.com/prism_tensichan)
- 加藤彩 [@utoka\\_47](https://www.instagram.com/utoka_47)
- 小橋柚奈 [@tti\\_1102](https://www.instagram.com/tti_1102)
- こばら [@g\\_o\\_e\\_k\\_a\\_k\\_i](https://www.instagram.com/g_o_e_k_a_k_i)

- 小柴海亜 @noahoimo
- 襲惠雅 @admt\_g
- 田辺朔葉 @tanabe.motoha
- みーや @harui.\_.miya
- びゅん @byun\_tears

## ■ 開催概要

- 展覧会名：『雨の日の星空』（Rain Tree × 9 GEIDAI Students 2026）
- 会期：2026年8月18日（火）～8月28日（金）
- 時間：12:00 - 19:00（最終日は18:00閉場）
- 会場：Gallery Blue 3143（東京都港区南青山3-14-3 1F, 2F）
- 料金：入場無料
- 協賛：株式会社ウェルネス、abc株式会社
- 協力：株式会社オーバース

※本展終了後、都内近郊某所にて関連イベントの実施を予定しております。

価値という言葉がある。消費者という言葉がある。間に、お金がある。

「お金」というチケットと、自分の欲を交換する日々。

チケットの枚数が、この世界で体験できることの数を決めている。

だからまるで、銀行口座の貯金額は、自分のHPのようにすら思える。

HP999で安心？このHPは、何かと交換できるから価値がある。

食事と、衣服と、住居と、週末と。

しかし、チケット何枚で交換ができるのかは、時代と共に移り変わる。

そして、チケット自体の価値も変わる。

硬い金属の箱の奥にしまったチケットは、次開けたとき、枚数が変わっている。

交換のルールも、チケットの枚数も、私たちの目の前の今日とは遠いところで決定されている。

暑い夏に感じる資本主義は、こんな景色だ。

世界は、人々が価値を交換し合うことで生まれる。私たちは「消費者」ではない。

価値をつくる人に対して、対等な価値を与える人だ。

昔々は貝殻で、ちょっと前はお米で、現代は「お金」で、価値を与えてきた。

だけど私たちは、目の前で溶けていくかき氷に対して、

貝殻でしか、交換ができないのだろうか？

私たちは、いま・ここで、もっと自由に交換できるはずだ。

abcは、いま・そこかしらで生まれるはずの価値交換を、次の100年に向けて成り立たせる。

人間や文化の多様性は、自由な価値交換によって、生まれてきたはずだから。

# 多様性を通貨にする abc

## ■ abc株式会社について <https://www.gfa.co.jp/>

abcは「多様性を通貨にする」を掲げます。私たちのアイデンティティであり、北極星であるこの言葉は、未来社会への約束です。私たちはこの言葉を、経営、事業、クリエイティブの判断軸とすることで、Web3 技術を核とした通貨の専門集団として、従来の金融システムの枠組みに捉われない「善いことをした人が得をする世界」を目指します。

abc のグループ企業ネットワークにも「Tokenized by abc」をブランド表記として加え、各事業と一体で示すことで、統一的なブランドマネジメントを通じて、グループ全体として多様性を通貨にし、新しい価値交換システムを提供していきます。

所在地：東京都港区赤坂四丁目 9 番 17 号 赤坂第一ビル 11 階

代表者：代表取締役 松田 元

事業内容：企業・ファンド等への投資、投資先支援、不動産関連事業、暗号資産関連事業

《本件に関するお問い合わせ先》

abc 株式会社 経営企画部

[pr@abc-chain.com](mailto:pr@abc-chain.com)

以上